

平成 23 年 8 月 9 日

東日本大震災支援 ボランティア活動だより 第 2 号

「2011年3月11日金曜日、午後2時46分」から5カ月が過ぎました。あの日以来、亡くなられた方たち、いまだ行方不明の方たち、避難所暮らしをされている方がた、被災支援にあたる方たちに毎日心を重ねつつ、大震災からの復興と原発事故の終息を心から願わずにはいられません。いまだ余震が続き、天候不順も加わり、大きな苦難と試練が日本を揺るがし続けています。長期の継続協働の支援とケアが必要です。

あらためて毎日の暮らしの中で・・・「今何が大切か、今何を求められ何ができるのか」と、当活動をみなさんとともに共有し、「出来ることを精一杯する」を忘れず、継続支援を永く展開していきたいとの思い」を皆さんと確かめ合いたいと思います。

当活動の準備経過と現況をボランティア活動だより 2 号でお知らせします。

1. 現在までの活動経過報告

- ① 大震災翌日より、関西支部は協会本部と一体となり、東北支部との連絡と支援協力を上山支部長と菊地副支部長（現支部長）、八木副支部長のもと開始。
- ② 支部幹部会、運営協議会において大震災に対しての支援を決定し、方向性として、関西支部は関西広域連合、関係機関との連携とネットワークづくりで支援活動を協働して開始する。また、支部内に会員の自発意志による東日本大震災ボランティア支援活動の組織が発足する。活動は主体的に訪問班、電話班、総務班・広報班などいずれかの班に所属しての参加し、所属する班の希望は研修時に各自で申し出ることとした。
 - ・訪問支援班（現地支援・近畿圏避難者支援含む）：直接の相談活動・生活支援を担当
 - ・教育研修班：危機介入や喪失・震災のケア等、相談実践の研修の企画運営を担当
 - ・総務班・広報班：ボランティア活動名簿の作成と管理、ボランティア情報収集・
 - ・ボランティアだより作成・らぼーる関西広報記事作成を担当。
- ③ 大震災への支援ケアの基礎研修「危機介入及び支援活動の基本的心得」を開催
 - ・本部作成のDVDによる研修と話し合いを実施。
 - ・実施日：5月6日 5月9日 7月25日（3回、同一内容で実施）また、ボランティア活動参加者とは、当活動は長期的に継続して被災者支援が求められる活動であり、関西支部会員の主体的・積極的・継続的な自主参加を基本とすることを話し合い、共通理解しました。
- ④ 現在164名の支援ボランティア登録名簿作成完了。各活動班及び県別会員登録名簿を支部事務局で作成し保管する。登録会員との連絡は原則としてメール配信により行う。
- ⑥ 当活動についての共通理解のための話し合いと活動
 - ・6月15日・6月18日・8月5日(ボランティアだより編集会議開催)

2. 今後の活動内容と予定

「いったい活動はどうなっているの？」

「具体的な活動内容はどこまで進んでいるの」とみなさんからの関心の声が届いています。

具体的な活動内容と今後の予定は次のとおりです。

① 「被災地支援のための研修会」の開催（3回実施・支援とケアの基本知識を学ぶ）

② 専門研修の開催・・・9月22日(木曜日) 18時30分 研修センター 7階

内容 「クライシスカウンセリングの基礎」 講師 菊地節子支部長

参加申しは関西支部事務局にメールまたはでFAXで申し込み下さい

③ 「訪問班」の支援活動について

被災地から関西圏に避難されている方たちへの、今後、継続しての相談とケアと生活支援を行うため(被災者の方たちは、今何を必要とし求められているか?など)

訪問班の責任者の方々が被災者支援のために関係機関に出向いて、支援協力を申し出ながら、支援活動に結びつく訪問活動を現在展開中

滋賀県・京都府・奈良県・大阪府・兵庫県・和歌山県・東北現地

と各訪問班の責任者は、支部の通常業務活動の中をボランティア活動を展開しています。

⑤ 「ボランティア登録会員と意見及び情報交流会」の開催（予定）

既に3回の基礎研修を開催し、専門研修も9月22日に予定されています。

今後は支援・ケア・相談活動の研修と併せて、実際に関西でできるボランティアについての、会員との意見と情報の交流会で、今できる具体的支援活動が話し合えらと考えています。例・・・関西圏での生活相談会、気持ちを語る会等、関西圏に避難している方たちの「生活支援とこころの相談の支援が支部で定期的で開催できればなあ」と考えています。皆様のボランティア活動へのご意見や提案をメールでお寄せ下さい。

本活動は、主体的な継続支援活動であり、みなさんとの共通理解のため、ボランティアだよりをメールで配信します。併せて支部広報誌の「らぼーる関西9月号」やホームページにも活動内容や活動を掲載します。ぜひお読みください。

ボランティア活動につきまして、ご意見、質問、疑問など事務局・総務班までメールでお寄せ下さい。

3. 東日本大震災のボランティア情報のお知らせ

① 「東日本大震災ボランティア・インフォメーションセンター・兵庫」のホームページ

・被災地情報を集約し、毎日更新され、必要とされるボランティア内容の把握が可能

② 大阪ボランティア協会ホームページ

- ・ 阪神淡路大震災時に発足したNPO法人が運営
 - ・ 自ら被災地へスタッフを派遣していることから、被災地情報だけでなく、ボランティアの基本なども学ぶことが出来る。
- ③新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等様々な報道の中から、また書籍の中からも災害支援やケアについて学ぶことができます。・・・みんなで情報は共有しましょう!!

4. 「阪神・淡路大震災 援助活動の記録」(復刻版) 作成

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災における援助活動に、ボランティアとして参加した日本産業カウンセラー協会会員による活動に記録の復刻版を作成しました。電話相談活動の記録や現地支援活動記録など16年前のボランティア活動がいろいろな立場、役割のなかで綴られています。

東日本大震災ボランティアを活動を行ううえで参考になると思います。希望者は、実費(400円)でお分けしますので、返信用封筒(A4角形2号に210円切手を貼付し、住所・宛名を記入ください)に400円切手を同封のうえ、事務局にお申し込みください。

なお、部数に限りがありますので、希望に添えないこともありますので、予めご了承ください。

以上

(文責:総務班 舛野)